

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月13日更新

事務事業名		愛玩鳥獣登録事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	可徳 精至
	施策	9	みどりの景観の保全			所属課	農政課	担当者名	橋本 育将
	基本事業	25	自然の保全			所属班	農業振興班	(内線)	1167
予算科目		会計一般	款6	項2	目1	事業連番10202	法令根拠	合志市鳥獣捕獲許可(愛がん飼養目的)及び鳥獣飼育登録実施要領 合志	
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	メジロ(新規、更新)、ホオジロ(更新のみ)登録事務県からの権限移譲のため、平成19年度より市の事務となった
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	申請書受付、手数料調定・納付書発行、登録証発行、台帳記載
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
事業内容と同じ		メジロ(新規、更新)、ホオジロ(更新のみ)登録事務	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 受理件数	件	消耗品費の減。	
⇒ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民	人	⇒ ア メジロ、ホオジロを飼育している人	
		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
メジロ・ホオジロを飼養することが出来る。	件	⇒ ア 新規登録数	
		⇒ イ	
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠			
平成19年からホオジロの捕獲が禁止されたこともあり、また近年の新規登録件数を見ると年に1件もないため。			

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
① 活動指標	ア	件	9	11	12	11	7	7	7	
	イ									
② 対象指標	ア	人	9	11	13	7	14	14	14	(期間限定複数年度のみ記載)
	イ									
③ 成果指標	ア	件	2	0	2	0	1	1	1	0
	イ									
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円			1				
		地方債	千円			7				
		その他	千円							
		繰入金	千円			3				
		一般財源	千円							
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	11	0	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	4	0	4	5	4	4	
	人件費	延べ業務時間	時間	37	0	37	76	37	37	
		(B)人件費計	千円	148	0	147	313	152	152	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	148	0	158	313	152	152	

事務事業名	愛玩鳥獣登録事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行規則等の改正に伴い、平成19年4月1日からホオジロの捕獲が禁止されたこともあり、新規で捕獲を申請する人が減少したためと思われる	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 新規飼養申請はないものと考え、飼養更新に係る目標値を設定したため	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 メジロ、ホオジロを飼育している人が対象のため。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的を持つ事務事業は他にない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 22年度は事業費が0だったため	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 本事業への職員の対応を少なくすることは難しい。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 メジロ、ホオジロを飼育する人すべてが対象である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 県からの権限移譲を受けているため、市が行うしかない	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

新規登録の見込みがほとんど見込めないため、更新事務が主となる。この事務処理はスムーズに行われた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 継続していく		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"> </td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								